

茨城県 社会福祉士会 NEWS

NO. 63

発行 一般社団法人 茨城県社会福祉士会
Ibaraki Association of certified Social Workers

発行日 平成31年3月22日<2019. 3. 22>

編集 広報事業部

事務局 〒310-0851

茨城県水戸市千波町1918

茨城県総合福祉会館内

Tel : 029-244-9030

Fax : 029-244-9052

ホームページ <http://www.csw-iba.org/>

Eメール csw-iba@ibaraki.email.ne.jp

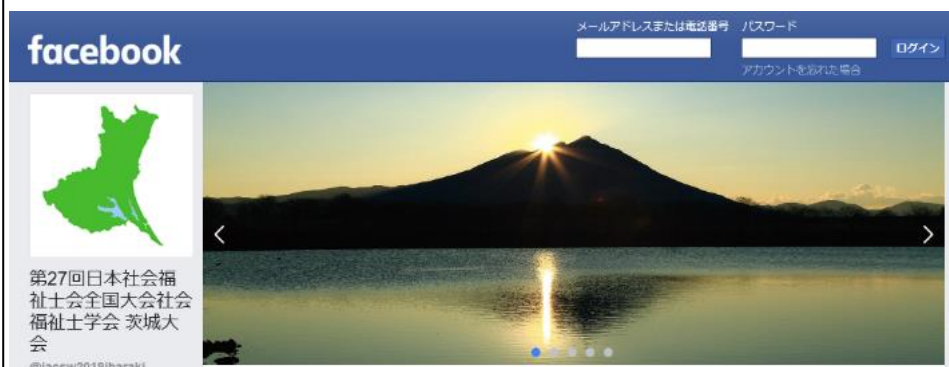
茨城大会参加申し込み受付開始!!

2019年6月1日～2日、第27回日本社会福祉士会全国大会を茨城で開催します!!

多くの会員の皆さまよりボランティアのお申し込みを頂きありがとうございました。全国の皆さまに来て良かったと言って頂けるよう力を合わせて茨城大会を盛り上げていきましょう!

また、ボランティアにお申し込み頂いていない皆さまもぜひ茨城大会にご参加ください!! 全国の社会福祉士の皆さまと交流できるまたとないチャンスです! 大会にご参加頂くことも大会運営に大きく貢献して頂いたこととなりますので、常連の方も初めての方もぜひこの機会にご参加くださいませ♪

茨城大会の専用Facebookページをよろしくお願いします!



<https://www.facebook.com/jacsw2019ibaraki/>

2019年6月1日～2日開催の『第27回 日本社会福祉士会全国大会 社会福祉士学会 茨城大会』の専用ページです!! 大会に関する情報を随時更新しております!

皆さまぜひ「いいね!」やフォローをお願いします! 全国の皆さまにもどんどん広めてくださいね!! 全国から多くの皆さまにご参加頂けるよう茨城大会をアピールしていきましょう!!

★ご案内★

茨城県社会福祉士会のホームページをリニューアルしました!
茨城大会のwebでの参加申し込みもこちらのホームページから受付中です!!
皆さまぜひ活用くださいね♪

茨城大会参加申し込み受付開始…1

「三団体合同研修会」に参加して…2

「2018年度 第2回社会福祉士共通基盤研修」に参加して…3

会員の声「社会福祉士としてできること」…4

第31回社会福祉士国家試験結果…5

ブロック活動報告…6～10

(県北、県央、県南、県西、鹿行)

編集後記・・・10



三団体合同研修会「ソーシャルワーカーが自殺予防のために出来ること」に参加して



県南ブロック 千葉 由香里

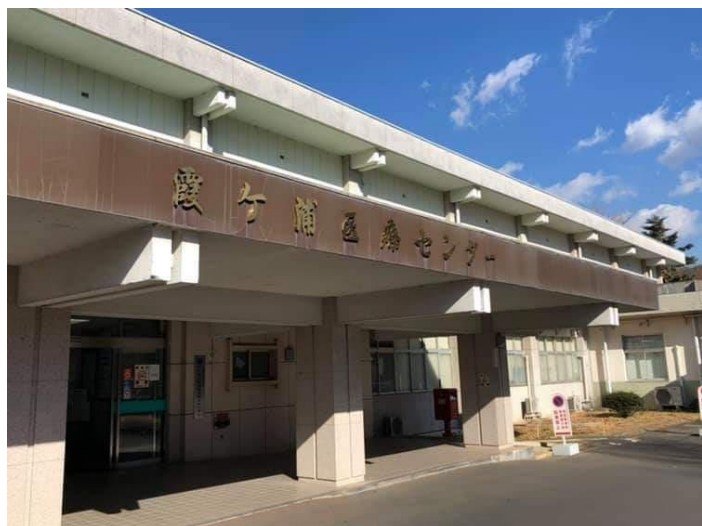
1月27日（日）霞ヶ浦医療センターで行われた茨城県社会福祉士会、茨城県ソーシャルワーカー協会、茨城県精神保健福祉士会の三団体合同研修会が行われ参加をさせて頂きました。講演をして下さいました太刀川先生、そしてこの研修を運営して下さいました各関係者の方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。

今回のテーマは「ソーシャルワーカーが自殺予防のためにできること」でしたが、太刀川先生には①自殺は他人事ではない②自殺のプロセス③自殺予防で誰もがができること④自殺予防でSWができることの内容でご講演をいただきました。

①自殺は他人事ではないでは、世代別から見て自殺は10代から30代までの死因の1位、40代では死因の2位、50代になって死因のベスト3から外れるということを知りました。諸外国では10代から30代の死因は自殺より不慮の事故が多いということ。自殺既遂者が年間3万人いるとすると自殺未遂者は30万人、死にたいと思っている人は300万人いるということですが、自殺に遭遇した人の周囲6人は人生が変わると言われていることなどを理解することができました。②自殺のプロセスでは、人は3つ以上の問題を抱えると他人の支援が必要となりますが、セルフスティグマが強くなってしまうと誰にも話すべきではないと感じてしまい、悩みを相談できなくなり社会とのつながりが希薄になってしまうこと。自殺者の心理は振り子のようになっていて死にたい気持ちと生きたい気持ちの間で揺れていますが、死にたい気持ちが強くなった時に生きたい気持ちに戻すには社会とのつながりが必要であるというお話をお聞きしました。③自殺予防で誰もがができることでは自殺のサインにはどのようなものがあるのか、声かけはオープンクエスションを活用する方が良いことや、相手の話は腰を据えてじっくりと聞くことが大切であるとのお話を太刀川先生の体験談を含めてお聞きしました。④自殺予防でSWができることでは、自殺未遂・自傷はもっとも明確な危険因子であることや救命救急センターにおける自殺未遂者へのケース・マネジメントと継続的なモニタリングの重要性のお話を聞きました。

研修を通して、自殺は他人事ではなく身近にあると感じるとともに、社会とのつながりを丁寧に作って行くことの大切さを感じました。また、時間をかけて訴えを傾聴することが心理的治療となること。相手の考えを肯定することが一緒にいるという思いを感じてもらうことにつながる。相手の気持ちを思いやり共感し、キーワードを繰り返すことによって視野狭窄が緩むこと。あなたのことを心配していますと伝えることの大切さを学びました。

今回の研修で学んだこと自分自身の支援を振り返ったことを今後、相談支援専門員として支援に活かしていくことができるよう努力をしていきたいと思います。



「2018年度 第2回社会福祉士共通基盤研修」に参加して



株式会社オーバースロー

指定共同生活援助事業所コテロ元吉田

小坪 成雄

3/10（日）に、社会福祉士共通基盤研修を茨城県総合福祉会館で受講してまいりました。「地域共生社会の実現とは何か ～私たち社会福祉士ができること～」と銘打たれた研修でした。幅広い年代、職域の方々集まっておられ、参加されていて刺激を頂く機会も多くありました。最近始まった共生サービスを意識しつつ、現在の自分の仕事と社会福祉士の仕事を照らし合わせながら、竹之内会長の講義を聞いておりました。内容的には広義の地域包括ケア、共生という耳慣れた単語について、再確認するようなものもあり、良い機会に話の中に、どう社会福祉士が関わっていくか、その存在意義は何かを考えさせられるようなものでした。昨今、子ども家庭福祉士の国家資格創設の動きもあり、改めて自分の持っている資格について考えることが多かっただけに、竹之内会長の言葉に背筋が伸びる思いでした。

後半のグループワークでは、地域について、その問題と資源、強みをそれぞれで考えて挙げ、話し合い、大げさに表現すれば、ひとつの地域を再興させる内容でした。グループの中で自分の挙げた地域が取り上げられ、それについて、活発な意見が出ておりました。社会福祉士と言っても職域は様々なので、グループの方々の意見は大変参考になりましたし、自分の視野が狭いのがよく分かりました。

自分の資格の根底にあるもの、エッセンス的なものに触れる貴重な研修になりました。

少々脱線しますが、竹之内会長の講義を聞いていて、東日本大震災のときに、会長の講義を県民文化センターで聴いていた事を思い出しました。

竹之内会長、初め運営の皆さま、一緒に研修をさせて頂いた方々に感謝いたします。

ありがとうございました。

★ご案内★

5月25日（土）10:30～
2019年度茨城県社会福祉士会
定時総会を開催いたします。

詳細は後日お知らせいたしますので、皆さまご予定の調整をお願いいたします。

★福祉関係者のための

成年後見制度活用講座を受講予定の方へ★

4月20日（土）・21日（土）に開催する福祉関係者のための成年後見制度活用講座を受講される方で宿泊をご希望される方は、早めにホテル等の手配をされることをお勧めいたします。

会場の鹿島勤労文化会館がある鹿島市内では4月20日（土）に鹿島アントラーズの試合が予定されており、宿泊施設が混雑する可能性があります。

携帯電話やスマートフォン等を利用した連絡網への登録をお願いします！

郵送費等の低減と会員の皆様への情報提供の迅速化を目的とした連絡網システム（マ・メール）へのご登録をお願いいたします。

①迷惑メール防止機能をご利用の方は「mamail.jp」からのメールを受信できるようにご設定ください。

② csw-ibaraki@mamail.jp に空メールを送信してください。

③ 折り返し送られてきた「入会お礼メール」の本文末に記載されているリンクをクリックし、プロフィール入力画面にしてください。

④ 表示された画面でプロフィールを入力し、[登録]をクリックして登録完了です。

※登録は、一人につき一つのメールアドレスに限定して頂けるようお願いいたします。



社会福祉士としてできること

株式会社 ほーむけあいしやま 坂口 節子

先天性疾患を持ち生まれてきましたので、幼い頃から自分に課された使命感のようなものを感じ、迷うことなく医療職に就きました。その頃は、データで理論的に実証されていない事柄については信用できないしナンセンスと思っていたように記憶しています。

しかし、データ化された世界の中にと、次第に心が渴望していくもので、「姉ちゃん、こっちさ来おーよ。」と声をかけてくださった認知症のおばあさんの声に吸い寄せられて隣に座った瞬間から、その魔力にかかり介護の道に。認知症対応型グループホームに勤めさせていただくようになり、数年たったある日、社会福祉士である成年後見人さんと出会いました。その方が入居者さんに話しかける姿を目の当たりにして「どうすれば後見人になれますか？」と気が付けば質問攻めにしておりました。

その方に出会わなかったら社会福祉士にはなっていなかったと思います。合格した時は嬉しかったですね。現在は、念願かなって後見人の仕事をさせていただいております。今まで従事していたグループホーム事業から、新たに高齢者の居宅ケアマネ、障がい者相談支援専門員、後見人と同時に3つの事業に就くことになって、2年になるところです。まだまだドタバタしていますが、周囲の方々に支えられ、助けていただきながら何とかよちよち歩きですが、一步ずつ歩んでおります。

社会福祉士として何ができるか？常に考えて行動するようにしています。長年、グループホームで従事していた時にお世話になった市に何か恩返しできることはないか？足りない資源を開発していこう！ということで、思い切って行動を起こしてみたところです。声をあげれば、賛同してくださる仲間がいて、仲間がまた仲間を呼ぶ。職種の枠を超えて、専門職だけでなく、市民の方々の力も借りて。市の包括支援センターのご支援、協力も得て、新年度から本格的にやさしさをつむぐ認知症カフェが始動します。カフェが拠点になって、地域でのふれあい活動や支え合いができる昭和時代の長屋のような関係づくりをめざしています。今さら、昭和時代のような関係づくりはできないでしょうと言う方もいらっしゃるでしょうが、やってみなくては、行動を起こさなくては、何も変わらない。

この地域には何が足りないか？こんなことができればいいのに・・・。あればいいのに。

考えること。行動すること。実現すること。が社会福祉士としての醍醐味かなと思っています。

自分の課題は、知識の向上。武器は、人との出会いとネットワーク。

そしていつも念頭においているのは、「本人の立場に立って考えること」と「社会正義」です。失敗も多くありますが、一步ずつ一步ずつ歩んでいければと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

茨城県社会福祉士会のFacebookページもよろしくお願いします！

<https://www.facebook.com/csw.ibaraki/>



各種お知らせや研修会の様子等を発信しています。

皆さまぜひ「いいね！」やフォローをお願いいたします！

※「いいね！」などのご参加を頂くにはFacebookへの登録（無料）が必要となります。

Facebookに登録しなくても閲覧は可能です。



第31回社会福祉士国家試験結果

受験者数：41,639 名

合格者数：12,038 名

合格率：28.9%

茨城県の合格者数：227 名

3月15日に合格発表があり

茨城県でも227名の方が合格

しました＼(^o^)/

新たに社会福祉士に仲間入りをする
方に出会ったら「合格おめでとう！
社会福祉士会に入って一緒に活動し
よう！」とお誘いくださいね💖

今年は全国大会開催もありますので
仲間を増やし盛り上げましょう☆



★新規入会会員大募集中です★

職場やご友人に社会福祉士の資格をお持ちでまだ社会福祉士会に入会されていない方は
いらっしゃいませんか？また、新たに社会福祉士国家試験に合格した方はいらっしゃいま
せんか？もし身近にそんな方がおりましたら、ぜひぜひ社会福祉士会への入会のお声かけ
をお願いいたします。資格取得はスタートラインです。様々な研修に参加したり、懇親会
でネットワークを広げたり、社会福祉士会で更に自分を磨いて行きましょう！相談できる
仲間が増えるとお仕事をする上でもとっても心強いですよ♪

今年度～来年度にかけては茨城大会開催に合わせて年会費の一部を免除するキャン
ペーンを実施しております。まだ未入会の社会福祉士の方にはこの機会をぜひご活用
頂けるようお声かけください。入会申込書は事務局にご用意しておりますので、お電話
やメール、ホームページの専用フォームよりお気軽にご請求ください。



皆様、こんにちは。県北ブロック広報担当 石井です。

1月、2月と渡り、定例会を開催させていただきました。

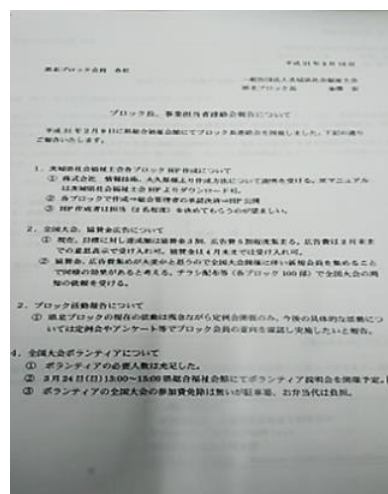
内容としましては、6月に開催される全国大会に向けての「広告依頼」状況報告や、
県社会福祉士会 担当委員へのご協力への周知方法等を、各自の視点からにて
議論させていただきました。

これといった結論までには、全ての点においては至らなかった点もありますが、6月
の全国大会に向けて、出来る限りのバックアップをしていければ…と考えておりま
す。

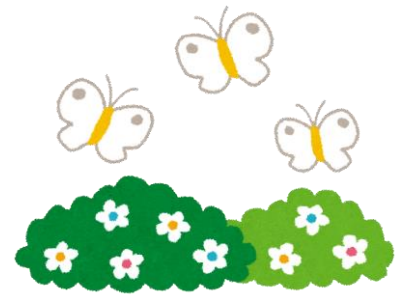
また、facebook ページの方にも、その時の模様を掲載させていただきましたので、
ご参照いただければ有り難いです。

あと、各ブロック毎のホームページ作成に関する事項に関しても、各自で話し合い
をさせていただきました。

今回は4月の開催を予定しております。



県央ブロックだより



実践報告会に参加して

小美玉市地域包括支援センター美野里 横須賀 優

11月17日愛成会記念茨城福祉医療センターにおいて行われた実践報告会に参加させていただきました。まず、こもり社会福祉士事務所の小森弘道氏より「独立型社会福祉士の実践を振り返って」について実践報告がありました。どのような思いで社会福祉士として独立に至ったのか、その後の実践を行っていくうえで大切にしていることを聞くことが出来ました。

続いて「愛生会記念茨城福祉医療センター地域療育視線室の業務」について地域療育支援室の関根浩子氏より実践報告並びに施設見学がありました。愛生会記念茨城福祉医療センターでは、充実した医療機器と専門医による医療を提供する病院としての機能、医療型障がい児入所施設や空床型短期入所としての機能、通所支援事業所としての機能があります。その中でも特に発達障がいの専門外来、感覚統合療法、心理療法やレスパイトケアルームや4歳未満のダウン症のお子さんや親御さんを対象に保育士からの療育や医師からの講義等、ここでしか受けることが出来ない事業にセンターでは取り組んでいることについて説明がありました。そのような環境の中で地域療育支援室としては、①豊富な知識と行動力 ②どなたにもわかりやすい説明 ③寄り添った対応 ④他機関との良好な関係・連携を支援室のミッションとして実現していけるように取り組んでいることを知りました。

今後、様々な角度から知識を深め、社会福祉士としてさらに自己研鑽に努めたいと思います。

「社会リハビリテーションと社会生活力支援」を通して

國分 亜衣子

1月14日、茨城県総合福祉会館 大研修室にて、県央ブロックの研修が開催されました。今回の講義は、心身障害学の博士であり社会福祉士でもある奥野英子先生より貴重なお話を聞かせて頂きました。

奥野英子先生は、「地域生活を支援する社会生活力プログラム」を開発され、プログラムを完成させるまでに、様々な地域や学校、施設、病院で行われていた社会リハビリテーションのプログラムの取り組み等も研究され、実践される中で検討を重ねながら開発されたそうです。

奥野英子先生は、社会生活力とは、社会に参加していく権利を実行するために必要な生活力であり、それをどのように身につけていくのか、そのプロセスが社会リハビリテーションであると話されていました。障害のある方自身が自分で考え学習し、自分自身の生活力を高めていくことが大切であり、そのためのプログラムが「地域生活を支援する社会生活力プログラム」であると。

社会生活プログラムの構成は5部門から構成されており、各部門に5～6つの課題があり、各課題に対して3つの学習目標が設定されていました。ファシリテーターはプログラムを実施し進行していく側、プログラムに参加する側が「参加者」です。参加者はどの課題に取り組むかは自由に選ぶことができます。例えば、「買い物」という課題であれば何を買うのか、支払いの方法をどうするのか、買い物をいく場所へ

の交通手段等、買い物するためには何が必要かを考え、実際に自分の欲しいものを買に行き体験を通して、今の自分にできること、できると思っていたが上手くいかなかったことを知ることができます。また、上手くできなかった理由をグループで検討し、意見を出し合うことでより理解を深められるようになっています。

今回の奥野英子先生のお話を伺い、自分で考え、実行し、失敗しても失敗したことから学習することで、失敗→成功体験となり、自分自身のマンパワーにもつながるのだと思いました。今回はこのような貴重な研修の機会に参加することができ、とても勉強になりました。ありがとうございました。



県南ブロック活動報告

ホームページ ⇨ 『茨城県社会福祉士会 県南』で検索

春の訪れを感じる今日この頃、今年度も残りわずかとなり、皆様お忙しい時期かと思えます。来年度も県南ブロックでは定例会議にて実践報告、研修会、会員交流会などの開催を計画しています。まだお顔を出されていなかったり、しばらくご無沙汰であったりすると、参加を躊躇してしまうかと思えますので、社会福祉士のお知り合いや知人にお声を掛けて一緒にお越しくください。

定例会活動報告！

県南ブロックでは、偶数月の第3土曜日に定例会議を開催し、交代で活動報告など会員による会員のための勉強会を開催しています。日々現場で取り組んでいる方でも、自分の領域以外のことには案外知らないことが多かったりしませんか？

自分の領域の専門性だけでなく、他の領域のことも知ってみませんか？

12月定例会では、30名の参加があり、上田会員に「私の職場」というタイトルで実践報告をしていただきました。

2月定例会は、23名の参加があり、佐々木会員に「地域づくり・仲間づくりの実践」というテーマで地域包括支援センターの業務内容や自主勉強会について報告していただきました。



来年度の予定

4月20日(土)

佐野会員・竹林会員(つくば市役所)

6月1日(土)・2日(日)

社会福祉士会全国大会

6月15日(土)

中川会員 (牛久愛和総合病院)

8月17日(土)

会員交流バーベキュー大会

10月19日(土)

湯原会員(稲敷市社会福祉協議会)

12月21日(土)

高木会員(土浦市役所)

2月15日(土)

岡野会員(利根町社会福祉協議会)

お願い！

毎年恒例となっております、会員交流バーベキューですが、牛久シャトーの営業が終了となり、会場の再調整が必要となっております。会場の候補がありましたら、情報提供をお願いいたします。

県南ブロック活動報告の内容を会員のニーズに合わせて、より良い内容にしていいため、アンケートにご協力ください。回答は、QRコードを読み取るか、県南ブロックホームページから。



けんせいつうしん

今年もまたつら～い花粉の季節がやってきました。毎日とても憂鬱です…かかりつけの先生には「あと 20 年くらい頑張れば、軽くなるよ～」と言われましたが、それって…全然はげましになってないような気がするの私だけでしょうか…

さて、今年度最後のリレートークは、筑西市社会福祉協議会の大類 勝也さんです！

リレートーク12

福祉に関わる仕事に関心はあったものの、もとは異業種に就いていた私。縁あって現職場に入局できましたが、最初は「先輩、特老ってなんですか(°▽°)？」という質問から。我ながら恐ろしい新人だったと思います。そのようなスタートですから、当初は資格取得も「特別な人がする事」と思っていました。転機となったのは、「先輩と一緒に仕事がしたい」と、社会福祉士を目指していた後輩が急逝した事。お約束の展開ですが、彼の想いを消したくないという一心が、私の社会福祉士としての一歩でした。

そして現在、皆さんと共に活動できる事となりました。現在は地域包括支援センターに配属。そこで関心・重点を置いているのは、やはり“権利擁護”というテーマです。数年前に家族が認知症を発症し、思いがけず介護者という立場にもなりました。夢中で介護と支援に奔走する中、たとえ専門家でも単独支援は難しいこと・家族の想いだけでは通用しない現実を目の当たりにしました。当事者の意思は後回しとなり、『課題解決』と『周囲の納得』が最優先という支援に疑問を感じていた時に、“ぱあとなあ”でご指導頂いている先輩方との出会いが。まさに“必要な時に必要な出会いがある”ものですね。

成年後見や虐待対応・意思決定支援など、その人らしい人生を過ごす支援とは、本当に奥深い。諸先輩の導きを得て、少しずつ歩みを進めている今日この頃。とにかく目指す事・行動すること・研鑽を重ねることが大切と心得ております。私も年齢だけはベテランに達しているでしょうが、現実は何年経っても未熟者。だからこそ学ぶ姿勢と機会を大切に。これまで出会えた方、これから出会う方と共に、頑張っていきたいと思います。

※次回は、居宅介護事業所：はばたきⅡの古市律子さんにバトンタッチします。

みなさんの地域の情報、 お待ちしております！

県土会のホームページが昨秋リニューアルされました。これまでのシステムとは異なり、各ブロックでもページ作成が可能になるなど、今後会員相互の情報交換に大変役立つものと考えています。

各地でおこなわれる講演会や研修会等の情報を随時アップしていきたいと思います。情報をお持ちの方は、事務局あてお寄せください。

2019 年度の定例会の予定は、
後日改めてお知らせします。
どうぞお楽しみに！



鹿行ブロック情報

鹿行ブロック定例会

「日本社会福祉士会全国大会 茨城大会について」集まりました。

1月10日（木）、鹿嶋市にて鹿行ブロック定例会を開催し、鹿行管内より会員8名の参加がありました。鹿行5市の各市から、これまでの役員経験者のみなさんを中心に集まっていただいて、全国大会（茨城大会）への協力体制についての打ち合わせをしました。

参加していただいた会員のみなさんの協力的なお言葉に、やっぱり繋がっていることが大切だなあ。とあらためて思いました。

ご協力いただきましたみなさんありがとうございました。



鹿行ブロックでは、ゆるやかなネットワークづくり、また会員を増やしていけるよう事業展開していきたいと思えます。

次年度は、社会福祉士会全国大会（茨城県大会）以降に、定期的に研修会、交流会の開催を予定します。



【編集後記】

早いもので茨城大会まであと2カ月余となりました。大会の参加申し込み受付も始まり、いよいよ間近になってきたという感じです。

全国大会は年に1度の全国の皆さまと交流できる素晴らしい機会です。常連の方はもちろんのこと、これまで参加したことがないという方にもぜひ地元での開催を機にご参加頂き、全国大会という場を体感して頂きたいと思えます。全国の会員の皆さまと交流がもてるようになると、各地の取り組みを知ることにもつながり知識の幅も広がり良い刺激になりますよ。まだ参加したことがないという方もぜひ全国大会デビューをしてみましょう！

そして茨城大会を力を合わせて盛り上げていきましょう！大会の成功のためには多くの会員の皆さまのご協力が不可欠です。県内外のお知り合いの皆さまにもぜひ茨城大会参加のお誘い・呼びかけをお願いいたします。

広報事業部



